

● m i y a 部会!!



嶋崎友香副議長

次に、m i y a 部会!! 43番 宮の原中学校2年 出井友也さん，48番 河内中学校2年 金子衿子さん。

43 番 出井友也議員

議長，43 番

48 番 金子衿子議員

議長，48 番

[43 番 出井友也議員，48 番 金子衿子議員 登壇]

43 番 出井友也議員

43番，宮の原中学校の出井友也です。「市内の活性化」について提案いたします。

現在，私たちの住む宇都宮の街は，特に中心地は閉まっている店が多く，とても“また行きたい”というような街ではありません。オリオン通りを見ても，歩いているのは若者が目立ちます。しかし，若者といっても，小中学生が一人で歩くにはどこか危険を感じます。普段私が市内を訪れても，行く店は限られていて，全体的に見てもすごく暗いという印象を受けます。



このような現実を踏まえて、私たちが望む“活気あるきれいな街”にするため、次の三つの提案をいたします。

一つ目は、暗い印象があり、シャッター街などと呼ばれることもある中心市街地商店街の活性化を図ることです。今、私たちの目から見ても中心市街地の空洞化というのは一目瞭然です。先月には「うつのみや表参道スクエア」がオープンしましたが、これを契機としてさらに子供からお年寄りまでが一同に会して楽しめる魅力的な施設をぜひ市と地元商店街が一丸となって建設していただきたいと思います。

二つ目は、清潔で安心して生活できる街にすることです。そのためには、オリオン通り内にもっと植物や花などで緑を増やし、華やかさとうるおいを創出してはいかがでしょうか。また、市街地を流れる釜川の水辺空間をもっと利用して、市民憩いの場として心が癒せるようなスポットにして欲しいと思います。

三つ目は、“活気あるきれいな街”にするためには、市に何でもお願いするのではなく、自分たちで出来ることは自分たちですという意識を持つことが重要です。その取り組みとして、一人ひとりがゴミを捨てないという自分で出来ることから始めることが大切だと思います。でも、守れない人や協力しない人も出てきますから、ゴミを捨てないためのみんなが守れるようなルール作りが必要ではないでしょうか。

最後になりましたが、そこに住んでいるすべての人が、未来ばかりをみるのではなく、しっかり現実を受け入れ、足元を見失うことのないようにしながら、若者からお年寄りまでみんなが安心して楽しめる街づくりをしていくことを私たちは望んでいます。そして、県外から来た観光客から“また行きたい”とか“移り住みたい”と思われるような誇れる街になってほしいと思います。さらに今住んでいる私たちや将来の子どもたちが“ずっとずっと住み続けたい”と思えるような街づくりを、ぜひ、佐藤市長にお願いしたいと思います。

以上で質問を終わりにします。よろしく申し上げます。

48番 金子衿子議員



48番、河内中学校の金子衿子です。

次に、環境に優しく安全性が高いとして注目され、宇都宮市が積極的に導入を検討している「新交通システムLRT」について、3つの項目を提案し、それに対する考えをお伺いいたします。

多額の経費を必要とするLRTの導入については、費用対効果や採算性の問題、既存の交通会社の存続問題など、未だ多くの課題を抱えており、市民からも賛成反対それぞれ意見があります。しかし、LRTの導入によって、観光客の数やイベントの開催も増加し、大きな経済効果を得ることが期待できると思います。また、これから高齢社会を迎えるにあたり、LRTは多くの市民の便利な交通手段として十分に浸透し、将来を見据えたLRTを利用したまちづくりは、多くの市民が関心を持っております。

そこでまず、1つ目として、導入した場合の利用料金と運行本数について提案いたします。利用料金については、乗車距離に限らず一定料金とし、また、一日乗り放題券や定期券を発行するなど、観光や通勤通学に便利な制度を考えていただきたいと思います。また、運行本数については、

利用者の利便性を考えて、朝夕のラッシュ時には、走らせる本数を増やしていただきたいと思いません。

2つ目として、LRT導入後、将来的には、現在計画されている宇都宮テクノポリスセンター地区から大通りを通り、桜通り十文字付近までの東西15kmの整備だけではなく、例えば江ノ島電鉄のように、住宅地周辺を走らせるなどすれば、LRTの静かさという利点を生かすことができ、車を運転できないお年寄りや子どもたちがより利用しやすくなり、私たちの身近なものになると思います。また、郊外のショッピングセンターに行ったり、宇都宮市周辺に住んでいる人々も利用しやすくなるように、LRTで宇都宮環状線（宮環）を一周できることも考えていただきたいと思えます。

3つ目として、LRTを導入していくにあたって、いろいろな場で議論されていると思いますが、関心のあるお年寄りや私たち若者の意見をもっと取り入れやすくなるよう、市民参加型の企画委員会などを作り、積極的に開催して、全国に誇れる素晴らしいLRTの導入を、ぜひ早い時期に実現してほしいと思えます。

以上の提案に対する市の考えをお聞かせください。よろしく申し上げます。

寺内栄総合政策部次長

議長，総合政策部次長

嶋崎友香副議長

総合政策部次長

〔寺内栄総合政策部次長 登壇〕

寺内栄総合政策部次長



「まちの顔」である中心市街地の現状を危惧され、これからの「宇都宮のまち」を大切に思う出井議員のお考えに強く感銘を受けました。

それでは「市内の活性化について」のご質問にお答えいたします。

まず、「子どもからお年寄りまで楽しめる魅力ある施設の建設」についてであります。中心市街地の活性化には、子どもからお年寄りまでの多くの人が集い、歩いて楽しめる「魅力ある都市空間づくり」が大切であると考えております。そのため、中心商店街の空き店舗対策として、出店の際の事業費用の補助を行うことや、交流拠点としての「オリオンスクエア」や市民のシンボルでもある「宇都宮城址公園」などの整備を行い、市民交流や回遊性を高めるための事業を進めてきたところであります。

先月には、「うつのみや表参道スクエア」が誕生しましたが、この建物の5階、6階には、「市民ギャラリー」「ゆうあい広場」などで構成される子どもからお年寄りまで幅広い年齢層が集う場としての「市民プラザ」が生まれました。また、二荒山神社前の参道の東側には今回、「バンバひろば」が整備されましたが、今後さらに、参道の西側にも広場が拡張される予定となっており、これらを

合わせると整備前の約3倍の約2,500平方メートル、テニスコートにすると約10面分の「憩いと集客の空間」が創出されることとなります。

こうした施設を市民の皆さんに活用して頂くとともに、今後とも、都市としての魅力を高めるため、気軽に立ち寄ることができるよう「賑わいや活力のある宇都宮」の創造に向け、市民の皆さんの意見を取り入れてまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

次に、「オリオン通りに緑を増やす」についてであります。現在、本市では、「宇都宮市花と緑のまちづくり推進協議会」が中心となり、「シンボルロード」、「東武馬車道通り」などの街路灯の支柱に「ハンギングバスケット」を飾る活動を行い、心に安らぎを与えてくれる花や緑が中心部で増えてきており、市民の皆さんの協力を得ながら、その範囲が、今以上に広がることを望んでおります。また、「中心市街地を流れる釜川の水辺空間の活用」として、まちづくり推進機構という組織や、地元の河川愛護会や商店街などと協力して「釜川プロムナードの清掃活動」や「釜川ふれあいまつり」のイベントなどを実施しており、今後、市民の憩いの場としてさらに、活用してまいりたいと考えております。

次に、「ゴミを捨てないルール作り」についてであります。現在、本市では、空き缶やゴミなどの散乱を防止するための条例をつくり、地域環境の美化の向上と資源の有効活用に努めているところであります。また、今後、路上での喫煙行為を規制することや、ごみのないきれいなまちをみんなで作ることなどを内容とした条例をつくり、まちづくりのルール作りを進めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、本市では、今まで中心市街地の活性化に向け、施設整備を始めとして、まちづくり会議、イベントの開催、再開発など様々な事業を行ってまいりましたが、中心市街地の活性化は、市民の方々の発意と意欲で取り組むことが何よりも大切であります。また、これら事業の成功の鍵を握るのは、まちづくりの主役である「宇都宮に住む中高生の皆さんをはじめとした多くの市民の方々」であり、生徒の皆さんには、今まで以上にまちづくりに関心を持っていただけることを期待しています。

寺内栄総合政策部次長

金子議員の「新交通システムLRTについて」のご質問にお答えいたします。

現在、宇都宮市で導入を検討しているLRTにつきましては、これからのまちづくりにおいて、本格化する高齢社会や環境問題にも配慮した新しい交通システムとして全国的にも注目されております。

まず、「利用料金と運行本数」についてであります。公共交通は、誰もが使いやすく、安心して利用できることが重要であると考えます。ご提案の「乗車距離に限らない一定料金」や「一日乗り放題券」、さらには、「朝夕のラッシュ時には、運行本数を増やす」などにつきましては、まさに利用者のニーズを考えた、利便性の高いサービス提供のために必要なことであり、大変すばらしいアイデアであると思います。今後、検討していく上でぜひとも参考にさせていただきます。

次に、「将来的には、住宅地や宇都宮環状線を走らせてほしい」についてであります。LRTは、木に例えると太い幹の役割を持ちます。しかしながら、面的に広がるまちを一本の幹だけでカバーすることは難しいと考えます。このため、幹であるLRTに、バスやタクシーなどを枝のようにつなげることで、市内のどこへでも自由に行けるような公共交通のネットワークを検討しているところ

ろです。また、将来的には、周辺に住んでいる皆さんが便利になるよう、東西だけでなく、山手線のように走る路線や、既存の鉄道にも乗り入れる路線などを整備できたら素晴らしいことと思います。

次に、「市民参加型の企画委員会などの開催」についてであります。現在、説明会や意見交換会など、あらゆる機会をとらえて皆さんの意見を伺っております。今後とも、より多くの人々の意見を聞くことは大変重要でありますので、市民参加型の企画委員会も含め、多くの意見が取り入れられるような仕組みについて、検討してまいります。

最後に、金子議員の、みんながLRTを利用したくなるようなご提案に、大変感心いたしました。今後、実現に向けては、まだまだ多くの課題がありますが、皆さんが「きっと、乗りたくなる」、全国に誇れる素晴らしいLRTを早期に導入し、皆さんのような若い人たちが大きな夢を持つことができ、将来にわたって楽しく暮らすことができる、多くの方が住んでみたい、住み続けたいと思うまちづくりを進めてまいります。

嶋崎友香副議長

以上で、m i y a 部会!!の質問を終わります。

発言通告者の発言は終了しましたので、一般質問を終結いたします。

